

今週の活動から



消防出初式の会場
で。(上:釘丸久
子議員)
厚木市は市内自動
車メーカーから提
供された電気自動
車・超小型モビリ
ティの実証実験を

行っています。機動
性や静粛性などを生
かして、介護施設に
おける訪問スタッフ
の移動車両として利
用し、地域の新たな
交通手段の可能性を
探ることを目的とし
ています。

(下:超小型電気自
動車に乗る栗山香
代子議員)



1月の法律相談は

1月22日(水) 13時～

前日迄の連絡をお願いします。
次回2月19日(水) 13時～

議会の在り方検討会で議論しています 通年議会、子ども議会、議会基本条例など

厚木市議
会では、議
会改革を進
める議論を
する組織と
して「議会
の在り方検
討会」を設
置していま
す。議会運
営委員会のメンバーが構成員です。

議会の在り方検討会

- ◎石井恒雄(市政クラブ)
- 松本樹影(改革あつぎ)
- 釘丸久子(日本共産党)
- 沼田幸一(あつぎみらい)
- 難波達哉(あつぎみらい)
- 寺岡まゆみ(公明党)
- 田上祥子(公明党)
- 松前 進(改革あつぎ)
- 名切文梨(民主クラブ)

昨年10月2日、議長から①通年議会について、
②市議会議員選挙の時期について、③議会基本条
例の制定について、④子ども議会の実施について、
⑤議会の評価について、⑥(仮称)議会災害時条
例の策定についての6項目が諮問されました。そ
れらの審議の優先順位を決め、まず①③④⑥につ
いて論議が進められています。

通年議会については実施の方向ですが、専決処
分の対象や、議会運営に関する取り決めやルール
をどうしていくかなど、細部で詰める必要があり
ます。

子ども議会は、市政施行60周年の記念事業とし
て、議会から提案したものです。50周年のときは
市の事業として実施されました。

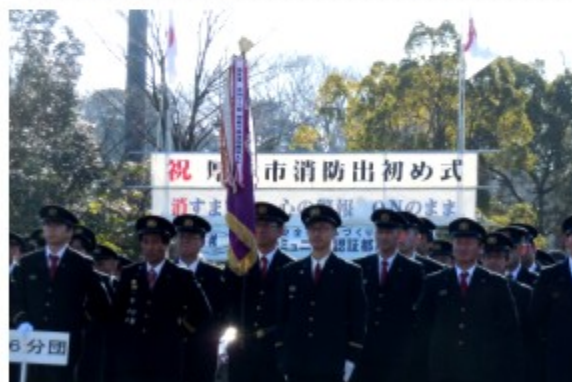
子ども議会の議員は、市内小中学生(小学5年
生から中学3年生)36人を公募します。未来の厚
木市に対する希望や期待などについて質問し、本
会議同様に市長や部長などが答弁します。実施は
8月後半が予定されており、子ども議員を集めて
事前に打ち合わせをします。

詳細については今後さらに検討していきます。

議会基本条例について、まず議会改革を進め
てその後に制定するかどうか論議していく方向で
進めてきました。今後は、議会基本条例について
議会全体での学習していく予定です。

議会の在り方検討会はインターネット中継
されています。ぜひご覧ください。

消防職員、消防団、自衛消防隊が一堂に 消防出初め式1月12日



厚木市消防出初め式は1月12日(日)
荻野運動公園で開催されました。外なの
で厚めのコートを着て行ったのですが、
陽があたって暖かい日でした。式典前に
2台の赤バイが先導して市長の親閲。
この日の消防部隊は、消防職員182
名、消防団員346名、大規模災害サポ
ート隊33名、自衛消防隊8名が整列しまし
た。なお、1月1日現在の消防職員数は
248名、団員は563名です。

厚木の常備消防が発足したのは昭和35
年ですが、消防団の発足はもっと古く、
明治初期の厚木町で住民が中心となり、
一定の人員と火消し道具を備え消火技術
を持った「町火消し」が誕生しました。町
内ごとに一組の「消防組」が設けられ、現在の
消防団へと発展しました。

明治27年2月9日に勅令により消防組規則
が設定されています。厚木では明治28年1月
に厚木町消防組が設置され、その後は荻野、
妻田、大正になって小鮎、南毛利と広がって
いきました。

昭和30年2月1日に厚木市が発足し、同時
に厚木市消防団が設置されました。現在の団
長は13代目です。

今年の出初め式では「昨年は消防組120
周年の記念大会があった。東日本大震災の教
訓を踏まえ、さらなる
充実と発展を目指す」
との消防団長の言葉が
ありました。

市民の生命と財産を
守ってくれる消防団で
すが、近年団員の確保
が難しくなっていると
の事。市内に在住・在
勤の18歳以上の方を募
集しています。お問い
合わせは消防総務課へ
TEL(223) 9366